

「ふくきたる」は茎葉黄化率 50%でも刈り取り可能

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜—アスパラガス—作型・栽培型

2 担当者

新野美佐子

3 要旨

県オリジナル品種「ふくきたる」は茎葉の黄化が既存品種に比べて遅い特性がある。しかし、茎葉の黄化率が50%で刈り取りを行っても黄化率が80%で刈り取った場合と同等の収量が得られる。

- (1) ハウス半促成栽培4年生株における茎葉刈取日は黄化率50%が12月15日、80%が12月25日となり、50%は10日程度刈り取り時期が早い(表1)。
- (2) 規格内収量は黄化率50%、80%がそれぞれ140kg/a、135kg/aとなり差がない(表1)。
- (3) 収穫若茎の規格別割合(図1)や収量経過(図2)にも差はない。

表1 茎葉刈取日および春どり期における規格内収量

黄化率 ^z	刈取日	規格内収量 ^y (kg/a)
50%刈取	12/15	140 ± 16.3 ^x
80%刈取(慣行)	12/25	135 ± 14.9

^z株毎に黄化程度を0:緑色、1:黄化始め～茎葉1/4程度、2:1/4～1/2程度、3:1/2～3/4程度、4:全体が黄化に分類し、次式により算出
黄化率 = $\sum(\text{指数別株数} \times \text{指数}) / (\text{調査株数} \times 4) \times 100$

^y茎重7g以上の規格外品を除く収量、収穫期間:2月23日～4月1日

^x±は標準偏差(n=4)

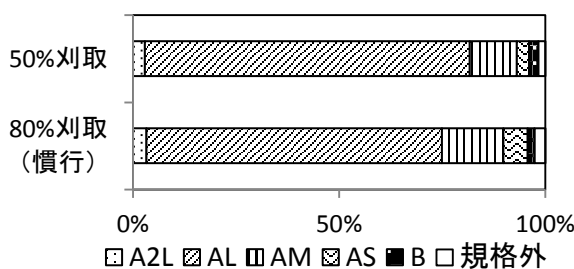


図1 収穫若茎の規格別割合

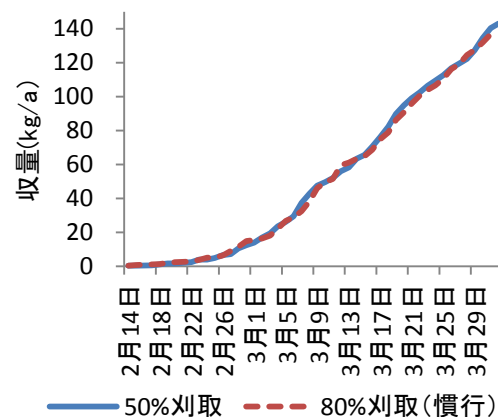


図2 累積収量(規格外品も含む)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度
- (2) 研究課題名 アスパラガス「ふくきたる」の栽培技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

福島県農業総合センター研究報告第7号(平成26年度)